

# 戦略型マネジメントコース

研修時間 / 21時間5分

**対象** 次長・課長(経験数年)

**講師** 株式会社HRインスティテュート 取締役シニアコンサルタント 国友 秀基

<b>参加費</b> (消費税10%込)	賛助会員	一般	*うち宿泊費・食事代 (シングル利用) 32,450円
	126,500円	145,200円	
	121,000円	138,600円	5名以上同時一括申込割引

**会場** レクトーレ葉山 湘南国際村(神奈川県葉山町)他

**定員** 30名



**開催日程**  
(合宿2泊3日)



第1日

第2日

第3日

**2020年**  
第131回  
7月8日(水)~10日(金)  
  
第132回  
10月7日(水)~9日(金)  
  
第133回  
11月11日(水)~13日(金)  
  
**2021年**  
第134回  
2月15日(月)~17日(水)

9:00  
  
11:45開始  
  
12:00  
  
13:00  
  
  
  
18:00  
19:00  
21:00

**11:45開始**  
  
オリエンテーション  
  
**1.リーダーシップの基本**  
  
**2.自己のリーダーシップ診断**  
ビジョンシップで仕掛ける  
マネジメントシップで仕組む  
  
**3.ビジョンシップを研ぐ**  
(1) 環境変化を捉える

(2) 戦略とは何かを理解する  
  
**(3) ケーススタディ**  
【グループ演習】  
  
グループ別発表と全体討議  
・戦略をシナリオで考える  
・わかりやすく、納得できるか  
  
**(4) 自社の戦略を考える**  
【演習】

**4.マネジメントシップを磨く**  
(1) チームから挽き出す  
  
  
  
**(2) メンバーを育てる**  
  
**まとめ**  
  
**14:30終了**

【経験交流】(懇親会)

(5) チームのビジョンを練る



## 期待される効果

- 自らのリーダーシップを自己診断した上で、戦略的なリーダーのあり方について学べます
- 「戦略とは何か」を理解し、ケース企業の分析を通じて立案プロセスを学べます
- 戦略実行のためのチームづくりという観点から、自身のリーダーシップの特徴やメンバーの現状を踏まえ、今後の課題を明確にできます



## 受講者の声

- 会社全体でも、職場レベルでも、焦点を絞り、重点的に、計画的に行動する戦略思考が重要である点とその取り組み方が理解できた。
- ケース企業のワークショップでは議論が白熱し、時間を忘れるほどだった。これからの管理者には戦略立案やビジネスモデルの創造力が不可欠であることを認識した。
- チームマネジメントやメンバーの動機づけの理論を初めて学びました。頭では理解できても実践となると難しいとは思いますが、すぐに自部署で取り組んでみたいと思わせる内容だった。



## 講師のコメント

国友 秀基 氏

「戦略型マネジメントコース」は、企業や組織(チーム)を戦略的にマネジメントできるミドルの育成を目指すコースです。プログラムは「戦略を知る、考える」ための前半部分と、それらの戦略をやる実行する「組織(チーム・メンバー)について考える」ための後半部分とに大きく2つに分かれています。一般的に「戦略が組織を規定する」と言われるとおり、上記は分けて考えるべきではなく、一貫通貫の繋がりで考えるべきものです。本コースがみなさんの組織を客観的に振り返り、意思を持って方向性を構成する一助になれば幸いです。





## 特徴

●戦略型マネージャーに求められる力を「ビジョンシップ」と「マネジメントシップ」に大別し、「ビジョンシップ」ではケースを通じた実践戦略を学び、「マネジメントシップ」では戦略を実践する人材育成について学びます。

●経営戦略についての基礎を学習し、ケーススタディで他社の検討をした上で、自社のことを考えます。実践的かつ具体的に自社の戦略を検討することができます。



## プログラム概要

### 1. リーダーシップの基本

リーダーとは何か、リーダーシップとは何か、基本を学ぶと共に、時代に合わせて変化するリーダーシップのトレンドを学びます。

### 2. 自己のリーダーシップ診断

「ビジョンシップ」×「マネジメントシップ」のフレームに基づき、日頃の自身のリーダーシップの状況を診断により客観視し、課題を探ります。

### 3. ビジョンショップを研ぐ

環境変化から戦略を捉え、戦略の基礎知識を学んだ上でケーススタディを通じて戦略を理解します。その上で自社の戦略を考えることで、有効な戦略立案をする「ビジョンシップ」を習得します。

#### (1) 環境変化を捉える

戦略構想の入り口として環境変化に敏感にアンテナを立てることが重要です。そのために、グローバルな観点と、日本国内のマクロ環境変化を捉え、戦略型マネージャーとして今後のビジネスの方向性を考えます。

#### (2) 戦略とは何かを理解する

戦略構想のベースとなるSTPの意義を確認し、勝つための明確な特徴づけ(フォーカス&ディープ)について考えます。その上で事例企業の戦略分析などを通じて、戦略構想に生かせるフレームワークを習得します。

#### (3) ケーススタディ

実在企業の戦略を仮説的に分析し、あるべき戦略の方向性の選択肢(戦略オプション)について検討します。グループワークを通じて、より多くの戦略的視点を体感します。

#### (4) 自社の戦略を考える

ここまでのセッションにて学んだポイントを活かしながら、自社の強みと弱みを考えると共に戦略を構想します。

#### (5) チームのビジョンを練る

自身の戦略を「ビジョン」としてチームメンバーに共有し、チームで実行することを考えます。

### 4. マネジメントシップを磨く

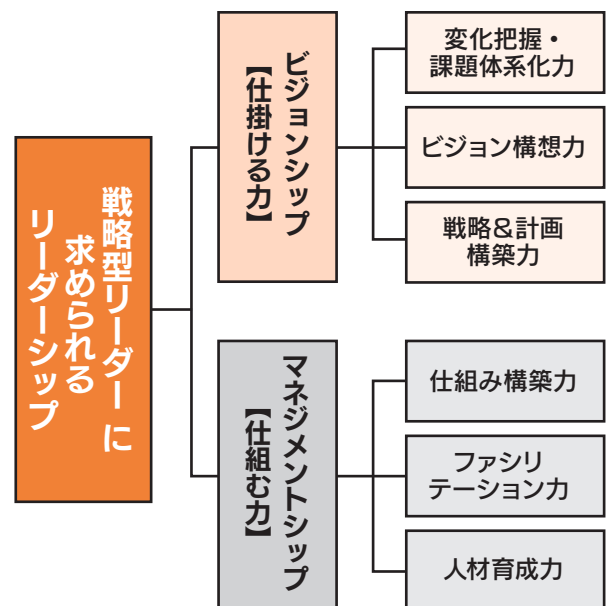
チームが優れた戦略を共通の意識のもとで実行する組織「血の通った組織」であるために戦略型マネージャーが取るべき行動や姿勢について学びます。

#### (1) チームから挽き出す

チームにおけるコミュニケーションの意義や効果について理解します。特に、リーダーとして求められる「聴く力」「訊く力」「伝える力」を重点的に習得します。

#### (2) メンバーを育てる

戦略実現の源泉となるもっとも重要な資源はチームのメンバーです。今のチームに揃う人財で戦略は実現できるのか、難しいのであればどのような育成を図るべきなのか、このセッションでは人材育成の方向性を戦略との関係性から考えると共に、各メンバーの動機付け・一人ひとりの個性と向き合うことについて考えます。



## 本コース受講後の推奨プログラム

①管理者戦略実践コース(P.41～42)

②上級管理者コース(P.31～32)